

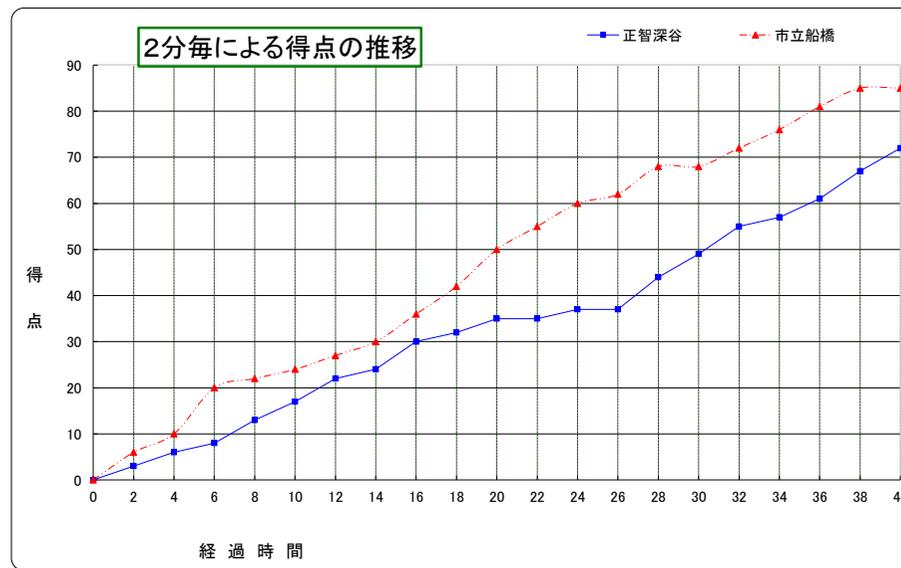
平成28年度第27回関東高等学校 バスケットボール新人大会

平成29年2月12日(日)
春日部ウイングハット
男子決勝M4

チームA 正智深谷 (埼玉)	72	{	<table border="0"> <tr><td>17</td><td>1st</td><td>24</td></tr> <tr><td>18</td><td>2nd</td><td>26</td></tr> <tr><td>14</td><td>3rd</td><td>18</td></tr> <tr><td>23</td><td>4th</td><td>17</td></tr> </table>	17	1st	24	18	2nd	26	14	3rd	18	23	4th	17	}	85	チームB 市立船橋 (千葉)
17	1st	24																
18	2nd	26																
14	3rd	18																
23	4th	17																

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	常田 耕平	8	2	11	1	4	0	0	1	2	1	2	7	0	2
5	川口 颯太	17	3	7	3	10	2	2	1	4	3	2	1	0	0
6	増田 英寿	14	0	0	4	11	6	7	0	4	7	4	4	0	6
7	中村 吏	3	0	0	1	2	1	4	0	3	1	0	0	0	3
8	岡村 拓都	0													
9	渡部 琉	22	1	11	8	12	3	4	4	4	6	1	1	0	1
10	勝山 大輝	8	2	7	1	5	0	0	1	6	4	2	2	0	3
11	渡邊 圭悟	0													
12	石橋 柁	0													
13	國分 大雅	0													
14	田並 陽弥	0													
15	糸川 太一	0													
16	小山 愁	0													
17	渡辺 諒一	0													
18	木幡 春樹	0													
コーチ	成田 靖	0									2	1	1		1
		72	8	36	18	44	12	17	7	23	24	12	16	0	16
		確率		22.2%		40.9%		70.6%		計	47				

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	俵泉 遼	23	6	14	2	4	1	1	1	1	8	3	5	0	5
5	庄司 理宇	8	1	1	2	3	1	2	4	0	1	2	3	0	3
6	薬丸 侑平	13	3	6	2	8	0	0	2	1	1	2	0	0	2
7	野崎 由之	28	6	12	5	8	0	0	1	3	6	1	3	1	4
8	後藤 恵悟	4	0	0	2	2	0	0	4	0	2	1	4	0	1
9	星野 怜	0													
10	佐々木賢太	0													
11	長根 泰斗	0													
12	衛藤 崇	0													
13	市場 遥樹	0													
14	兼重ノトリック	7	0	0	3	7	1	2	2	1	6	2	3	0	1
15	三上 颯斗	2	0	0	1	2	0	0	2	1	3	0	0	0	1
16	富田 将希	0													
17	碓氷 真吾	0													
18	大澤 響生	0													
コーチ	近藤 義行	0									2	2			3
		85	16	33	17	34	3	5	16	7	29	13	18	1	20
		確率		48.5%		50.0%		60.0%		計	36				



戦評

第1P 正智深谷はハーフコートマンツーマン、市立船橋はオールコートマンツーマンでスタート。序盤、市立船橋は#7が連続で3pを決めれば正智深谷も#4・#5が3pを入れ返す点の取り合い。市立船橋は#4が2p・3pと連続でジャンプシュートを決めるなど流れに乗る。その後も市立船橋は#7の3p、#14のゴール下のシュートで7点差にする。

第2P 正智深谷は#9のドライブインやリバウンドシュート、3本の速攻で2点差まで詰めるが、対する市立船橋は#4・#7の3pで再び点差を広げる。正智深谷は残り3分でタイムアウトを取り、2-3のゾーンに変えるが、#4・#7の3pを止めることが出来ずに15点差で折り返す。前半で、市立船橋は#4と#7で3pを11本沈める。

第3P 市立船橋は変わらず#7・#8のドライブイン、#5・#7の3pと積極的に得点を重ねる。正智深谷は#6のインサイドを中心に攻めるも、市立船橋の堅い守りになかなか得点できず、#4・#5の単発なシュートに終わってしまう。正智深谷は市立船橋のアウトサイドシュートを止めようとディフェンスをトライアングルゾーンに変え#6のインサイドでファウルをもらい点数を取るも点差を縮めるまでには至らない。

第4P 正智深谷はトライアングルゾーンを継続し、#4・#10の3p、#6・#9のドライブインなどで追いかける。対する市立船橋も#15・#7が点を取り、点差は縮まらない。追いつきたい正智深谷は積極的に3pを打ち#10・#5が決めるも市立船橋も#6が2本の3pを決め逃げ切る。市立船橋はこの試合、16本の3pを決め優勝を飾る。

記入者: 高橋 努

Ref	緒方 崇	1st U	佐田幸一	2nd U	大山賢史
-----	------	-------	------	-------	------